

秋の火災予防運動

『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

(令和7年度全国統一防火標語)

目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えることから、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とします。

実施期間

令和7年11月9日(日)～令和7年11月15日(土)

重点目標

- ・地震火災対策を推進する。
- ・住宅防火対策を推進する。
- ・林野火災対策を推進する。
- ・乾燥時や強風時の火災発生防止対策を推進する。
- ・放火火災の防止対策を推進する。
- ・防火対象物等の防火安全対策を徹底する。
- ・地域における防火安全体制の充実を図る。
- ・製品火災の発生防止に向けた取組を推進する。
- ・多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等を徹底する。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

◇ 4つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない、させない。
- 2 ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- 3 こんろを使うときは火のそばを離れない。
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

◇ 6つの対策

- 5 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろは安全装置の付いた機器を使用する。
- 6 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 7 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類および、カーテンは、防災品を使用する。
- 8 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- 9 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 10 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

消防本部の主な行事予定

行 事	実 施 日	場 所	概 要
こども園写生会	11月11日(火) 11月12日(水)	山口こども園 広谷こども園	* はしご車の写生会に園児が挑戦 女性消防団員と一緒に防火広報
防 火 研 修	10月28日(火)	朝 来 消 防 署	* 朝来市内旅館・ホテル防火研修会
	10月30日(木) 11月4日(火) 11月5日(水) 11月14日(金)	養父市関宮活性化施設 別宮ふれあいセンター 養 父 消 防 署 ハチ高原交流促進センター	* 養父市内旅館・ホテル防火研修会
防 火 査 察	10月～11月	市 内 全 域	* 旅館・ホテル等
消 防 教 室	10月～11月	市 内 全 域	* 事業所、各種団体、各地区
防火ポスター展	10月31日(金)～11月7日(金) 11月1日(土)～11月3日(月) 11月2日(日)～11月3日(月) 11月2日(日)～11月3日(月) 11月7日(金)～11月14日(金) 11月9日(日)～11月15日(土) 11月21日(金)～11月28日(金)	イオン和田山店 生野マインホール 山 東 公 民 館 マックスバリュ-養父店 朝 来 公 民 館 生 野 交 流 館 Y B フ ァ ブ	* 防火ポスターの展示
広 報 活 動	期間前及び期間中	市 内 全 域	* 広報紙の全戸配布 * 防火ポスター等の配布 * 立看板・横断幕の掲出、巡回広報

南但消防本部からのお願い

○ 住宅用火災警報器は **10年**を目安に本体をとりかえましょう。

○ 住宅火災によって亡くなる方の多くは、**逃げ遅れ**によるものです。

火災を早く発見し、早く避難するために住宅用火災警報器を設置しましょう。

○ 住宅用火災警報器を設置する場所は、次の場所です。

寝室（普段の就寝に使う部屋）と**階段**（寝室がある階の階段の上部）です。

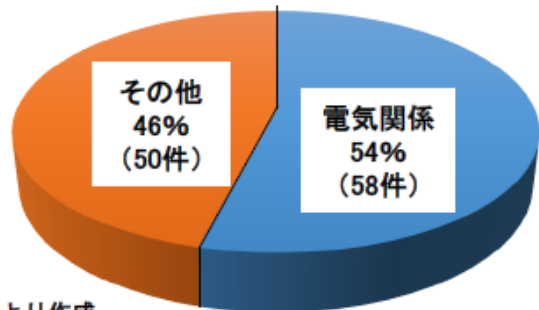


地震による 電気火災対策 は きちんと出来ていますか？

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の出火でした。

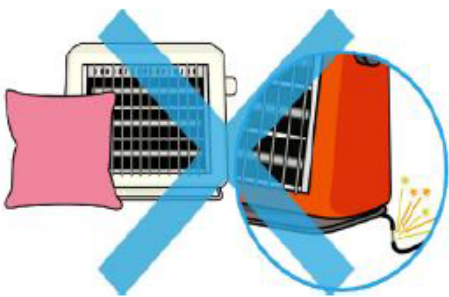
地震による電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

※日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より作成

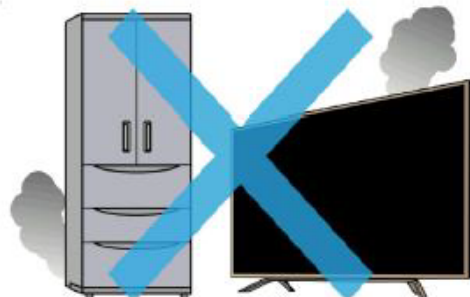


停電が復旧したときに要注意

電気機器の破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認しましょう。



再通電後、電気器具内部の故障などで火災危険あり。しばらく電気器具に異常がないか注意しましょう。



※停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く。避難するときはブレーカーを落とすことが大切です。

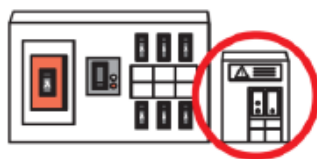
感震ブレーカーを設置しておくで安心

「感震ブレーカー」は、地震発生時に既定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

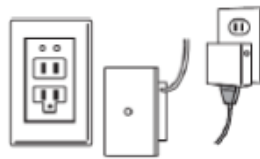
主な感震ブレーカーの種類



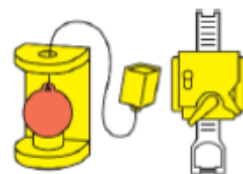
分電盤タイプ（内蔵型）



分電盤タイプ（後付型）



コンセントタイプ



簡易タイプ

〈火災予防運動に関するお問い合わせ先〉

朝来消防署庶務予防係 ☎ 079-672-0119

養父消防署庶務予防係 ☎ 079-662-0119